

さらなる温泉街の発展を祈願して 12/6・7

1957年12月7日に温泉が初めて湧き出したことを記念し毎年開催

寸又峡温泉街イベント広場で毎年恒例の「温泉感謝祭・供養祭」が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場では山の幸をふんだんに使った鍋料理や甘酒、八つ頭などが振る舞われたほか、赤石太鼓の演奏やそばの早食い競争なども行なわれ、訪れた浴衣姿の宿泊客らを楽しませました。

また、てんぐや山伏にふんした組合員やたいまつを持った地元住民らが温泉街を練り歩き、源泉でくんだ温泉水を振りまきながら無病息災と温泉街のさらなる発展を祈願しました。



雪が舞う寒い夜、温かい鍋料理に長蛇の列ができました

11/23 五感で楽しむ川根茶の魅力

盛りを迎えた紅葉の下で川根茶を楽しむ催し「川根時間」が開催されました



参加者は心ゆくまで茶農家との「茶談議」に花を咲かせました

「第4回川根時間」（同実行委員会主催）が、千葉山智満寺（上長尾区）にて開催されました。

10種類以上の川根茶から好みのものを飲む「匠の間」や第68回全国茶品評会上位入賞茶を味わえる「極みの間」では、参加者は町内菓子店で作られた茶菓子も楽しみつつ、その香りと味を存分に堪能していました。

また、味や香りから品種を当てる「茶歌舞伎」の体験会や「インテリア茶箱」の展示、釜炒り茶をシャンパングラスで味わう飲み方の紹介なども行われ、来場客を楽しませました。



①本中プールを水利として放水訓練（田代区）、②消火器訓練（田代区）、③消火栓の使い方を学ぶ（千頭東区）、④普通救命講習（本川根中）

温泉街を包み込む幻想的な光 10/30

毎年恒例の「和紙のあかり展」、今年は浴衣モデルの撮影会を初開催

10月15日から11月5日まで、寸又峡温泉街で「第9回和紙のあかり展」が開催され、期間中は多くの観光客が訪れました。

今年は初の試みとして、同展の魅力をもっと多方面に周知することを目的に、浴衣姿のモデルを撮影する写真撮影会が企画されました。モデルは小林玲子さん（接岨区＝39歳）と大村文乃さん（沢間区出身・焼津市＝31歳）が務め、町内外の写真愛好家ら約10人が参加しました。幻想的な光の中、参加者はモデルにポーズを指示し夢中でシャッターを切っていました。



浴衣モデルを務めた大村さん⑤と小林さん⑥

12/7 「地域ぐるみで獣害を防ごう」

役場産業課主催の「獣害対策研修会」が開催されました



獣害対策も「自助・共助・公助」が大切と話す寺田さん

農産物への鳥獣被害の対策について学ぶ「獣害対策研修会」が地名集会所で開催され、区内外から54人が参加しました。

県志太榛原農林事務所の寺田真子所員が講師を務め、獣害の現状や動物の習性を生かした対策方法などについて説明しました。また、住民が協力して効果的な獣害対策を成功させた地域の事例を示した上で「地域住民が一丸となって獣害対策を実施することが大切。一人一人ができることを考え、野生動物から暮らしを守りましょう」と参加者に呼び掛けました。

地域防災訓練を町内全域で実施、自助・共助を再確認

実災害を想定し、訓練に臨む

12月7日、「地域防災の日」に合わせ、町内全域で地域防災訓練を実施、町民約3,500人が参加しました。各地区では、午前9時の開始サイレンを合図に自主防災会が中心となり、自助・共助を再確認しながら、訓練に取り組みました。

また、県が配信した「緊急速報メール」を受信する訓練も行われ、午前9時に携帯電話やスマートフォンがいっせいに鳴り響きました。

下校時に災害発生！その時、どう動く…

本川根中学校では下校時に被災した場合を想定し、

緊急時においても自己の判断で適切に行動する力を養う狙いで、最寄りの避難所への避難訓練を行いました。生徒らは午前8時55分、各自の下校ルートに基づき帰宅。午前9時にサイレンが鳴った時点で居合わせた地区へ避難をし、地区の訓練に参加しました。

鈴木憲校長は「このような訓練を行っている学校はほとんどないと思う。生徒の判断力を養うことで、災害時の的確な行動を期待したい」と訓練の意義を強調しました。

生徒らは地区防災訓練に参加した後に学校へ戻り、午後から応急手当普及員で構成する「EMS川根本町」の手ほどきで普通救命講習を受講し、全校生徒が普通救命講習修了証を取得しました。